

## 平成20年度菊陽町決算及び基金の運用状況審査意見書

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された平成20年度菊陽町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに財産に関する調書等の関係帳簿、諸書類を審査した結果、別紙のとおり意見を付する。

平成21年 8月20日

菊陽町監査委員 大 倉 理 稔

菊陽町監査委員 酒 井 良 一

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

- (1) 平成20年度菊陽町一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成20年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成20年度菊陽町老人保健特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成20年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成20年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成20年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成20年度菊陽町下水道特別会計歳入歳出決算
- (8) 平成20年度菊陽町農業集落排水特別会計歳入歳出決算
- (9) 平成20年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算
- (10) 平成20年度菊陽町財産に関する調書
- (11) 平成20年度菊陽町基金運用状況調書

### 2 審査実施期日

平成21年7月1日から平成21年7月23日までのうち11日間

### 3 審査場所

菊陽町役場監査室

## 第2 審査の方法及び決算の概要

### 1 審査の方法

この決算審査にあたっては、町長から送付された平成20年度各会計決算書、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等の書類についての計数の確認を行い、さらに、会計課の保管に属する諸書類、その他各課担当職員から関係書類の提出を求めるとともに、必要に応じ説明を聴取して、予算執行の適否並びに会計処理が適正に、しかも合理的に行われているかなどについて審査した。

### 2 決算の概要

#### (1) 一般会計

平成20年度菊陽町一般会計決算の状況は、歳入総額 10,501,296,131円、歳出総額 9,877,287,779円で、差引残額 624,008,352円となっている。

ア 各年度別決算の推移をみると、下記のとおりである。

(表1) 各年度別決算の推移 (単位：円)

年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
歳入	9,769,899,568	10,032,402,185	9,610,097,368	10,865,616,641	10,501,296,131
歳出	9,209,673,172	9,633,934,444	8,933,020,950	10,181,489,982	9,877,287,779
差引残額	560,226,396	398,467,741	677,076,418	684,126,659	624,008,352

#### イ 歳入

平成20年度の菊陽町一般会計歳入決算は、予算現額が11,262,785,000円、調定額が10,899,600,211円、収入済額が10,501,296,131円となっている。収入率は予算現額に対して93.24%、調定額に対して96.35%となっている。また、収入済額は、前年度より364,320,510円減少している。

歳入の執行状況(表2)をみると、収入未済額は、町税 362,064,716円、分担金及び負担金(主に保育料) 4,282,200円、使用料及び手数料(主に住宅使用料)

6,649,300円、諸収入 525,727円で、不納欠損額は24,782,137円となっている。その他の款についてはすべて収入済となっている。

(表2)

## 平成20年度 菊陽町一般会計歳入の状況

(単位：円、%)

項目 款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入済額の構成比
1 町 税	5,923,104,000	6,349,632,623	5,963,018,770	24,549,137	362,064,716	56.78
2 地方譲与税	193,395,000	193,395,000	193,395,000		0	1.84
3 利子割交付金	16,051,000	16,051,000	16,051,000		0	0.15
4 配当割交付金	3,332,000	3,332,000	3,332,000		0	0.03
5 株式等譲渡 所得割交付金	1,292,000	1,292,000	1,292,000		0	0.01
6 地方消費税 交付金	296,236,000	296,236,000	296,236,000		0	2.82
8 ゴルフ場利用 税交付金	21,555,000	21,555,240	21,555,240		0	0.21
9 自動車取得税 交付金	36,414,000	36,414,000	36,414,000		0	0.35
10 国有提供施設等所在市 町村助成交付金	4,060,000	4,060,000	4,060,000		0	0.04
11 地方特例 交付金	57,126,000	57,126,000	57,126,000		0	0.54
12 地方交付税	318,917,000	318,917,000	318,917,000		0	3.04
13 交通安全対策 特別交付金	7,283,000	7,283,000	7,283,000		0	0.07
14 分担金及び 負担金	240,330,000	251,069,312	246,554,112	233,000	4,282,200	2.35
15 使用料及び 手数料	120,156,000	131,611,975	124,962,675		6,649,300	1.19
16 国庫支出金	1,584,028,000	857,505,599	857,505,599		0	8.17
17 県支出金	468,887,000	467,123,661	467,123,661		0	4.45
18 財産収入	194,435,000	195,430,417	195,430,417		0	1.86
19 寄付金	3,030,000	3,030,000	3,030,000		0	0.03
20 繰入金	226,291,000	226,286,098	226,286,098		0	2.15
21 繰越金	684,126,000	684,126,659	684,126,659		0	6.51
22 諸収入	65,337,000	67,822,627	67,296,900		525,727	0.64
23 町 債	797,400,000	710,300,000	710,300,000		0	6.76
歳入合計	11,262,785,000	10,899,600,211	10,501,296,131	24,782,137	373,521,943	100.00

## ウ 町税 (表3)

調定額は6,349,632,623円で、前年度の5,913,436,321円より 436,196,302円増加し、収入済額は5,963,018,770円で、前年度の5,507,313,584円より 455,705,186円増加している。収入率は、予算現額に対し100.67%、調定額に対し93.91%となっている。

不納欠損については、固定資産税分の増である。また、収入未済額については滞納処分等の積極的な実施により減少している。

(表3) 平成19年度と平成20年度 菊陽町税税目別徴収実績比較表 (単位:円、%)

税目\区分	年度	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率
町民税	平成19年度	2,080,567,336	1,913,341,483	9,186,760	158,039,093	91.96
	平成20年度	2,151,893,468	1,991,456,805	6,793,709	153,642,954	92.54
固定資産税	平成19年度	3,508,803,836	3,277,854,627	12,480,229	218,468,980	93.42
	平成20年度	3,861,034,237	3,642,540,422	17,164,928	201,328,887	94.34
軽自動車税	平成19年度	67,777,735	59,830,060	628,000	7,319,675	88.27
	平成20年度	71,402,775	63,719,400	590,500	7,092,875	89.24
たばこ税	平成19年度	256,287,414	256,287,414	0	0	100.00
	平成20年度	265,302,143	265,302,143	0	0	100.00
計	平成19年度	5,913,436,321	5,507,313,584	22,294,989	383,827,748	93.13
	平成20年度	6,349,632,623	5,963,018,770	24,549,137	362,064,716	93.91

(表4) 菊陽町税収入未済額の各年度別内訳 (単位:円、件)

税目\区分	年度	収入未済額	件数	計
個人町民税	平成20年度	40,524,509	2,749	10,059 件 145,980,454 円
	平成19年度	30,229,398	2,146	
	平成18年度	25,812,158	1,723	
	平成17年度	20,758,433	1,433	
	平成16年度	13,858,738	1,192	
	平成3~15年度	14,797,218	816	
法人町民税	平成20年度	2,074,600	40	117 件 7,662,500 円
	平成19年度	1,689,500	23	
	平成18年度	712,900	11	
	平成17年度	1,243,200	19	
	平成16年度	757,900	11	
	平成13~15年度	1,184,400	13	
固定資産税	平成20年度	33,287,898	1,234	5,486 件 201,328,887 円
	平成19年度	30,531,442	978	
	平成18年度	29,244,819	854	
	平成17年度	25,892,231	792	
	平成16年度	26,943,200	681	
	平成4~15年度	55,429,297	947	
軽自動車税	平成20年度	2,309,234	536	1,750 件 7,092,875 円
	平成19年度	1,438,109	360	
	平成18年度	1,232,171	316	
	平成17年度	916,000	233	
	平成16年度	761,936	194	
	平成8~15年度	435,425	111	
合計			17,412 件	362,064,716 円

(表5)

## 平成20年度菊陽町税不納欠損額の内訳

(単位：円)

税目	区分	不納欠損額	人数(社数)	不納欠損処分の理由
個人町民税		6,386,309	210	生活困窮156人、行方不明9人、死亡3人、資産なし4人 経営不振6人、倒産6人、執行停止13人、異動届無13人
法人町民税		407,400	8	経営不振2社、倒産6社
固定資産税		17,164,928	119	生活困窮92人、行方不明7人、死亡4人 倒産1人、資産なし1人、経営不振4人、執行停止10人
軽自動車税		590,500	119	生活困窮94人、死亡3人、行方不明7人、資産なし1人 経営不振4人、倒産1人、執行停止9人
計		24,549,137	456	

## エ 歳出 (表6)

平成20年度の菊陽町一般会計歳出決算は9,877,287,779円で、予算現額11,262,785,000円に対し執行率は87.70%となっている。また、支出済額は、前年度より304,202,203円減少している。

構成比をみると、民生費が24.58%、総務費が18.88%、土木費が17.54%、公債費が11.85%、教育費が9.77%、衛生費が9.07%などとなっている。

なお、来年度への繰越額は、9事業の986,760,418円である。

(表6)

## 平成20年度 菊陽町一般会計歳出の状況

(単位：円、%)

款	区分	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
1	議会費	109,925,000	108,598,857	98.79	1.10
2	総務費	2,467,770,500	1,864,883,213	75.57	18.88
3	民生費	2,490,379,000	2,428,059,497	97.50	24.58
4	衛生費	916,145,000	895,583,484	97.76	9.07
5	労働費	19,723,000	18,933,641	96.00	0.19
6	農林水産業費	299,402,000	288,110,558	96.23	2.92
7	商工費	79,826,000	58,403,031	73.16	0.59
8	土木費	2,157,998,000	1,732,337,067	80.28	17.54
9	消防費	359,449,500	347,093,086	96.56	3.51
10	教育費	1,009,514,000	964,777,622	95.57	9.77
11	災害復旧費	7,000	0	0.00	0.00
12	公債費	1,170,515,000	1,170,507,723	100.00	11.85
14	予備費	182,131,000	0	0.00	0.00
	歳出合計	11,262,785,000	9,877,287,779	87.70	100.00

(表7)

## 平成21年度への繰越額明細(繰越明許費)

(単位:円)

款 項	事業名	計	左の財源内訳		摘要
			区分	金額	
2 総務費 1 総務管理費	定額給付金事業	552,363,918	既収入特定財源 国庫支出金	7,157,918 545,206,000	
2 総務費 1 総務管理費	電子計算事業	6,247,500	国庫支出金	6,247,500	後期高齢者医療システム改修
2 総務費 3 戸籍住民基本台帳費	住居表示事業	5,565,000	一般財源	5,565,000	武蔵ヶ丘地区の住居表示整備
3 民生費 2 児童福祉費	子育て応援特別手当給付事業	20,271,000	国庫支出金 一般財源	20,269,000 2,000	
8 土木費 2 道路橋梁費	道路橋梁維持事業	19,000,000	一般財源	19,000,000	工事請負費、補償費
8 土木費 2 道路橋梁費	北小学校原水駅線道路改良事業	13,455,000	国庫支出金 一般財源	7,612,000 5,843,000	公有財産購入費、補償費 他
8 土木費 2 道路橋梁費	横道合志2号線道路改良事業	174,902,000	国庫支出金 一般財源	96,195,000 78,707,000	工事請負費、補償費 他
8 土木費 3 道路橋梁費	原水駅線道路改良事業	32,979,000	国庫支出金 地方債 一般財源	11,400,000 13,000,000 8,579,000	委託料、公有財産購入費 他
8 土木費 3 都市計画費	土地区画整理事業	161,977,000	既収入特定財源 国庫支出金 地方債 一般財源	44,060,000 40,000,000 74,100,000 3,817,000	工事請負費、補償費 他
合 計		986,760,418	既収入特定財源 国庫支出金 地方債 一般財源	51,217,918 726,929,500 87,100,000 121,513,000	

(2) 国民健康保険特別会計

平成20年度菊陽町国民健康保険特別会計決算の状況は、歳入総額 2,876,924,180円、歳出総額 2,841,353,126円で、差引残額は 35,571,054円となっている。

ア 各年度別決算の推移

(表8) 菊陽町国民健康保険特別会計 各年度別決算の推移 (単位：円、%)

区分 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
歳入	2,365,318,497	2,446,558,213	2,740,670,829	3,060,795,201	2,876,924,180
歳出	2,173,679,253	2,294,458,074	2,564,854,382	2,953,256,499	2,841,353,126
差引残額	191,639,244	152,100,139	175,816,447	107,538,702	35,571,054

イ 歳入

平成20年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入決算は、予算現額 2,872,968,000円に対し収入済額は 2,876,924,180円で、収入率は予算現額に対し 100.14%となっている。また、調定額 3,168,833,019円に対し収入率は90.79%となっており、収入済額は前年度より 183,871,021円の減となっている。

歳入の執行状況(表10)をみると、国民健康保険税で収入未済額 271,248,094円と不納欠損額20,462,956円を生じている。

(表9) 各年度別国民健康保険税の収納状況 (単位：円、%)

区分 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
調定額	1,073,968,348	1,096,223,050	1,143,527,966	1,184,665,485	1,004,220,787
収入済額	765,850,664	786,439,955	832,718,111	863,933,102	712,509,737
収入率	71.31	71.74	72.82	72.93	70.95

(表10) 国民健康保険税の各年度別の推移 (単位：円)

区分 \ 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
平成16年度	751,390,000	1,073,968,348	765,850,664	37,059,334	271,058,350	14,460,664
平成17年度	782,192,000	1,096,223,050	786,439,955	33,497,749	276,285,346	4,247,955
平成18年度	808,505,000	1,143,527,966	832,718,111	18,060,230	292,749,625	24,213,111
平成19年度	849,577,000	1,184,665,485	863,933,102	31,417,696	289,314,687	14,356,102
平成20年度	708,960,000	1,004,220,787	712,509,737	20,462,956	271,248,094	3,549,737



(表11) 平成20年度国民健康保険税の収入未済額各年度別内訳 (単位:円、件)

年度	国民健康保険税一般分		国民健康保険税退職分		備 考
	収入未済額	件数	収入未済額	件数	
平成20年度	57,506,473	3,090	1,936,142	129	
平成19年度	45,737,495	2,269	1,845,207	123	
平成18年度	39,157,934	1,925	868,227	68	
平成17年度	38,368,774	1,676	268,430	34	
平成16年度	34,881,255	1,514	1,186,292	67	
S55~H15年度	48,471,554	1,510	1,020,311	80	
計	264,123,485	11,984	7,124,609	501	

(表12) 国民健康保険税の不納欠損額の処分理由

年度	区分	不納欠損額	人 数	処分理由及び件数
平成3年度~平成20年度		円 20,462,956	人 198	生活困窮152人、死亡8人、経営不振2人、行方不明10人、執行停止26人

(表13) 国民健康保険税の1世帯及び1人当たりの負担額の年度別推移 (単位:円)

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1世帯当たり	179,276	174,549	177,705	176,604	161,848
1人当たり	82,794	81,704	85,003	85,989	83,820

## ウ 歳出 (表14)

平成20年度菊陽町国民健康保険特別会計歳出決算は2,841,353,126円で、予算現額2,872,968,000円に対し執行率は98.90%であり、前年度より111,903,373円減っている。

構成比をみれば、保険給付費が66.61%、共同事業拠出金が12.03%などとなっている。

(表14)

## 国民健康保険特別会計 歳出の状況

(単位：円、%)

款	項目	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
総務費		18,494,000	16,404,775	88.70	0.58
保険給付費		1,898,402,000	1,892,484,851	99.69	66.60
後期高齢者 支援金等		321,928,000	321,926,681	100.00	11.33
前期高齢者 納付金等		537,000	433,475	80.72	0.01
老人保健拠出金		89,719,000	89,718,565	100.00	3.16
介護納付金		145,255,000	144,871,852	99.74	5.10
共同事業拠出金		342,226,000	341,907,896	99.91	12.03
保健事業費		46,004,000	31,741,475	69.00	1.12
基金積立金		732,000	731,256	99.90	0.03
諸支出金		2,254,000	1,132,300	50.24	0.04
予備費		7,417,000	0	0.00	0.00
歳出合計		2,872,968,000	2,841,353,126	98.90	100.00

## (3) 老人保健特別会計

老人保健事業は平成20年3月診療分を残し、後期高齢者医療保険事業に移行したため  
予算規模は縮小している。

今後、本特別会計は平成22年度に廃止し、一般会計へ移行する予定である。

したがって、本年度の決算の状況は、歳入総額 244,003,456円、歳出総額  
240,009,151円で、差引残額は 3,994,305円となっている。

## ア 歳入

平成20年度菊陽町老人保健特別会計歳入決算は、予算現額 246,641,000円に対  
し、収入済額は 244,003,456円で、収入率は予算現額に対し 98.93%となっている。  
また、調定額 244,003,456円は収入済額と同額であり、収入率は100%である。

## イ 歳出

平成20年度菊陽町老人保健特別会計歳出決算は 240,009,151円で、予算現額  
246,641,000円に対し執行率は97.31%となっている。

執行状況を款別にみると(表15)のとおりである。

(表15)

## 老人保健特別会計 歳出の状況

(単位：円、%)

款	区分	年 度	予算現額	支出済額	執 行 率
総務費		平成19年度	4,142,000	3,643,682	87.97
		平成20年度	987,000	761,384	77.14
医療諸費		平成19年度	2,464,048,000	2,427,921,593	98.53
		平成20年度	237,049,000	230,643,767	97.30
諸支出金		平成19年度	24,000	23,000	95.83
		平成20年度	8,605,000	8,604,000	99.99
計		平成19年度	2,468,214,000	2,431,588,275	98.52
		平成20年度	246,641,000	240,009,151	97.31

## (4) 後期高齢者医療特別会計

平成20年度菊陽町後期高齢者医療特別会計決算の状況は、歳入総額 222,099,233円、歳出総額 215,492,671円で、差引残額は 6,606,562円となっている。

## ア 歳入

平成20年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入決算は、予算現額 224,991,000円に対し、収入済額は 222,099,233円で、収入率は予算現額に対し98.71%となっている。

歳入の執行状況をみると、受託事業収入や一般会計からの繰入金等があるが、保険料で収入未済額 1,114,340円が生じている。

## イ 歳出

平成20年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳出決算は215,492,671円で、予算減額 224,991,000 円に対し執行率は95.78%となっている。

執行状況を款別にみると(表16)のとおりである。

(表16)

## 後期高齢者医療特別会計 歳出の状況

(単位：円、%)

款	区分	予算現額	支出済額	執 行 率	支出済額の構成比
総務費		2,522,000	1,979,370	78.48	0.92
広域連合納付金		216,535,000	209,796,581	96.89	97.36
保健事業費		5,932,000	3,716,720	62.66	1.72
諸支出金		2,000	0	0.00	0.00
計		224,991,000	215,492,671	95.78	100.00

(表17) 平成20年度保健事業の状況 (単位:人、円、%)

区分 款	対象者数	実績	町負担額	受診率
後期高齢者健診	2,717	387	2,436,103	14.24
人間ドック	2,717	49	1,225,000	1.80

(表18) 参考:後期高齢者医療保険医療費(広域連合における菊陽町分)

区分 年度	総受診件数	総受診日数	医療費総額	年平均受給者数	1人当たりの医療費
平成20年度	68,743	178,373	2,692,482,559	2,717	989,190

(表19) 参考:平成20年度後期高齢者医療保険支給状況(広域連合における菊陽町分)

区分 項目	支払件数(件)	日数(日)	支払金額(円)
医科の入院	3,344	68,074	1,449,475,630
医科の入院外	42,409	94,663	827,934,630
歯科	4,356	10,766	68,156,030
調剤	18,004	—	195,775,030
食事療養費	—	—	130,363,778
施設療養費	—	—	0
老人訪問看護療養費	142	1,029	10,018,550
柔道整復師の施術	488	3,841	5,905,821
はり・あんま	83	—	1,903,964
治療用装具費	91	—	2,820,406
食事療養費差額	20	461	128,720
計(医療費総額)			2,692,482,559
高額医療費	2,320	—	72,034,487

(5) 介護保険特別会計

平成20年度菊陽町介護保険特別会計決算の状況は、歳入総額 1,562,423,535円、歳出総額 1,528,932,730円で、差引残額は 33,490,805円となっている。

ア 歳入

平成20年度菊陽町介護保険特別会計歳入決算は、予算現額 1,564,435,000円に対し、収入済額は 1,562,423,535円で、収入率は予算現額に対し99.87%となっている。また、調定額 1,573,137,275円に対し、収入率は99.32%である。

歳入の執行状況をみると、介護保険料で収入未済額 8,737,440円（1,168件、322人分）と不納欠損額 1,976,300円（265件、65人分）が生じている。

その他の款についてはすべて収入済となっている。

(表20) 各年度別介護保険料の収納状況 (単位：円、%)

年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
調定額	193,931,500	202,324,900	267,775,300	281,444,300	294,081,080
収入済額	188,434,900	195,597,200	259,183,100	272,183,820	283,367,340
不納欠損額	1,129,600	1,282,500	2,367,600	1,621,900	1,976,300
収入未済額	4,367,000	5,445,200	6,224,600	7,638,580	8,737,440
収入率	97.17	96.67	96.79	96.71	96.36

イ 歳出

平成20年度菊陽町介護保険特別会計歳出決算は 1,528,932,730円で、予算現額 1,564,435,000円に対し執行率は97.73%であり、前年度より 104,456,350円増えている。執行状況を款別にみると（表21）のとおりである。

(表21) 介護保険特別会計歳出の状況 (単位：円、%)

款	項目	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
総務費		39,296,000	36,456,998	92.78	2.39
保険給付費		1,422,307,000	1,397,006,011	98.22	91.37
財政安定化基金 拠出金		0	0	0.00	0.00
地域支援事業費		76,682,000	69,356,351	90.45	4.54
基金積立金		13,983,000	13,981,504	99.99	0.91
公債費		11,667,000	11,666,666	100.00	0.76
諸支出金		500,000	465,200	93.04	0.03
歳出合計		1,564,435,000	1,528,932,730	97.73	100.00

(表22)

## 介護保険給付費の各年度別推移

(単位：円)

項目 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
介護サービス費	1,077,714,849	1,161,340,266	1,236,642,202	1,304,122,396	1,369,289,418
審査支払手数料	1,380,920	1,595,810	1,710,285	1,772,320	1,827,610
高額介護サービス費	9,869,450	13,601,818	20,925,605	21,905,216	25,888,983
保険給付費(合計)	1,088,965,219	1,176,537,894	1,259,278,092	1,327,799,932	1,397,006,011

(表23)

## 要介護(要支援)者数の各年度別推移

(単位：人)

項目 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
要支援1	161	182	117	99	107
要支援2			99	121	122
要介護1	195	213	166	153	174
要介護2	101	107	135	135	120
要介護3	88	110	120	130	149
要介護4	81	89	111	114	117
要介護5	73	71	79	93	100
合計	699	772	827	845	889

## (6) 住宅新築資金等貸付事業特別会計

平成20年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の状況は、平成20年度で特別会計を廃止し残額を全て一般会計へ繰り出したため、歳入総額12,156,006円、歳出総額12,156,006円で、差引残額は0円となっている。

過去5年間の決算の推移は(表24)のとおりである。

(表24)

## 過去5年間の決算の推移

(単位：円)

区分 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
歳入	13,732,903	10,016,124	11,181,737	18,482,686	12,156,006
歳出	9,440,411	5,391,131	6,748,790	7,475,336	12,156,006
差引残額	4,292,492	4,624,993	4,432,947	11,007,350	0

## ア 歳入

平成20年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入決算は、予算現額12,164,000円に対し、収入済額は12,156,006円、収入率は予算現額に対し99.93%となっている。また、調定額40,605,641円に対し、収入率は29.94%である。

歳入の執行状況をみると、収入未済額が28,449,635円となっている。その他の款についてはすべて収入済となっている。

(表25) 収入未済額の状況 (単位：円、%、人)

区分\項目	調定額	収入済額	収入率	収入未済額	人数
現年分	693,016	693,016	100.00%	0	0
滞納繰越分	28,905,275	455,640	1.58%	28,449,635	11
合計	29,598,291	1,148,656	3.88%	28,449,635	11

## イ 歳出

平成20年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳出決算は12,156,006円で、予算現額12,164,000円に対し執行率は99.93%であり、繰出金4,102,098円も含め前年度より4,680,670円増えている。執行状況を款別にみると(表26)のとおりである。

(表26) 歳出執行状況 (単位：円、%)

款\項目	年度	予算現額	支出済額	執行率
総務費	平成19年度	39,000	30,300	77.69
	平成20年度	4,188,000	4,181,097	99.84
公債費	平成19年度	7,617,000	7,445,036	97.74
	平成20年度	7,976,000	7,974,909	99.99
予備費	平成19年度	9,510,000	0	0.00
	平成20年度	0	0	—
歳出合計	平成18年度	17,166,000	7,475,336	43.55
	平成20年度	12,164,000	12,156,006	99.93

(7) 下水道特別会計

平成20年度菊陽町下水道特別会計決算の状況は、歳入総額 1,752,083,497円、歳出総額 1,718,074,608円で、差引残額は 34,008,889円となっている。

ア 歳入

平成20年度菊陽町下水道特別会計歳入決算は、予算現額 1,747,323,000円に対し、収入済額は 1,752,083,497円で、収入率は予算現額に対し100.27%となっている。また、調定額 1,764,050,117円に対し、収入率は99.32%である。

歳入の執行状況をみると、使用料と負担金で11,295,530円の収入未済額があり、不納欠損額も 671,090円生じている。その他の款についてはすべて収入済となっている。

過去5年間の収入未済額は（表27・28）のとおりである。

(表27) 下水道特別会計 収入未済額（使用料（現年度分）） (単位：円、件)

年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
収入未済額	4,776,110	5,381,220	5,981,840	4,699,630	4,046,130
件数	1,248	1,448	1,573	1,747	1,931

(表28) 下水道特別会計 収入未済額（受益者負担金（現年度分）） (単位：円、件)

年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
収入未済額	3,012,170	1,337,880	778,890	993,160	1,212,640
件数	15	77	90	104	146

イ 歳出

平成20年度菊陽町下水道特別会計歳出決算は 1,718,074,608円で、予算現額 1,747,323,000円に対し執行率は 98.33%であり、前年度より131,700,268円減っている。執行状況を款別にみると（表29）のとおりである。

(表29) 下水道特別会計 歳出の状況 (単位：円、%)

款 項目	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
総務費	36,369,000	33,987,089	93.45	1.98
維持費	381,144,000	367,564,168	96.44	21.39
事業費	644,033,000	640,316,586	99.42	37.27
公債費	678,072,000	676,206,765	99.72	39.36
予備費	7,705,000	0	0.00	0.00
歳出合計	1,747,323,000	1,718,074,608	98.33	100.00



(表30)

## 平成21年度への繰越額明細(繰越明許費)

(単位:円)

款項目	事業名	節	金額	計	左の財源内訳	
					区分	金額
3 事業費	流域関連公共 下水道事業	13 委託料	3,368,000	3,368,000	国庫支出金	0
1 公共下水道事業					地方債	0
2 流域関連公共下 水道事業					一般財源	3,368,000
合 計				3,368,000	国庫支出金	0
					地方債	0
					一般財源	3,368,000

## (8) 農業集落排水特別会計

平成20年度菊陽町農業集落排水特別会計決算の状況は、歳入総額39,722,904円、歳出総額 38,692,583円で、差引残額は 1,030,321円である。

## ア 歳入

平成20年度菊陽町農業集落排水特別会計歳入決算は、予算現額 39,360,000円に対し、収入済額は39,722,904円で、収入率は予算現額に対し100.92%となっている。また、調定額 39,766,404円に対し、収入率は 99.89%である。

歳入の執行状況をみると、使用料で43,500円の収入未済額が生じている。その他の款についてはすべて収入済となっている。

## イ 歳出

平成20年度菊陽町農業集落排水特別会計歳出決算は 38,692,583円で、予算現額 39,360,000円に対し執行率は98.30%である。款別執行状況は(表31)のとおりである。

(表31)

## 農業集落排水特別会計 歳出の状況

(単位：円、%)

款	項目	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
総務費		596,000	539,222	90.47	1.39
維持費		8,136,000	8,034,601	98.75	20.77
事業費		9,501,000	9,293,497	97.82	24.02
公債費		20,827,000	20,825,263	99.99	53.82
予備費		300,000	0	0.00	0.00
歳出合計		39,360,000	38,692,583	98.30	100.00

## (9) 土地取得特別会計

平成20年度菊陽町土地取得特別会計決算の状況は、歳入総額 334,645,218円、歳出総額 266,645,218円で、差引残額は 68,000,000円である。

## ア 歳入

平成20年度菊陽町土地取得特別会計歳入決算は、予算現額 334,647,000円に対し収入済額は 334,645,218円で、収入率は予算現額に対し99.99%となっている。また、調定額 334,645,218円に対し、収入率は100%である。

## イ 歳出

平成20年度菊陽町土地取得特別会計歳出決算は 266,645,218円で、予算現額 334,647,000円に対し執行率は79.68%である。

なお、翌年度繰越額は、光の森公共用地整地事業の68,000,000円である。

(表32)

## 土地取得特別会計 歳入の状況

(単位：円)

款	項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算現額に対する収入率
財産収入		1,126,000	1,125,795	1,125,795	0	99.98
繰入金		333,521,000	333,519,423	333,519,423	0	99.99
歳入合計		334,647,000	334,645,218	334,645,218	0	99.99

(表33)

## 土地取得特別会計 歳出の状況

(単位：円)

款	項目	予算現額	—	支出済額	—	予算現額に対する執行率
土地開発基金積立金		1,126,000	—	1,125,795	—	99.98
諸支出金(財産取得費)		95,178,000	—	27,177,050	—	28.55
公債費		238,343,000	—	238,342,373	—	100.00
歳出合計		334,647,000	—	266,645,218	—	79.68

### 第3 審査の結果

1 平成20年度菊陽町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書並びに財産に関する調書・基金運用状況調書は、地方自治法、同法施行令、同法施行規則に定められた規定どおりに作成されていた。また、歳入歳出決算額、現金保管高、基金現在高等について審査照合した結果、全て正確であることを確認した。

一方、予算執行事務や財産管理についても、適法かつ適正であることを認めた。なお、決算審査の内容及び予算執行について必要な事項は、その都度担当職員に指摘し、今後の処理方法について共に検討した。

2 平成20年度菊陽町一般会計歳入決算の収入率は、調定額に対して96.35%であった。

そのうち、町税の徴収率は調定額に対して93.91%で、諸税の徴収向上対策により、差押、交付要求、分納の措置を行った結果、当該年度の徴収率は前年度より0.78ポイントの増となり、徴収率の向上に対する努力が認められる。税等の公平性と歳入確保のため、徴収率向上に引き続き努力されたい。

3 平成20年度菊陽町一般会計の町税の不納欠損額は24,549,137円で、前年度22,294,989円より2,254,148円増えているが、これは、固定資産税の欠損に起因しており、現状等の説明では、やむを得ないものと理解した。今後も、不納欠損に当たっては、十分な調査を行い慎重な対応をお願いしたい。

4 平成20年度菊陽町一般会計の分担金及び負担金の収入未済額は、4,282,200円で、その内容は、児童福祉費負担金（保育料）である。なお、不納欠損額233,000円の内訳についても、児童福祉費負担金である。

保育所に入ることのできない待機児童が数多くいる中、徹底した徴収に努められたい。

5 平成20年度菊陽町一般会計の使用料及び手数料のうち、町営住宅使用料収入未済額は6,649,300円であり、前年度の5,789,700円と比較し859,600円の増となっている。収入未済額は年々増加傾向にあるため、滞納整理に当たってはさらなる努力をされたい。

6 平成20年度菊陽町一般会計の繰越明許費は、9事業の986,760,418円となっている。いずれも明許繰越の事務手続は適正になされているが、今後は事業計画を十分に検討されたい。

- 7 平成20年度菊陽町国民健康保険特別会計の税の収入未済額は271,248,094円で、町税の徴収向上対策により前年度より18,066,593円減少し、不納欠損額も前年度より減少した。今後とも、徴収事務の円滑化と滞納整理の向上に努められたい。
- 8 平成20年度菊陽町国民健康保険特別会計の保険給付費は1,892,484,851円で、前年度の1,838,912,846円より53,572,005円増加している。今後とも給付費の節減及び健康で健やかな町民の育成を図るため、早期発見、早期治療等、定期検診の徹底を図られたい。
- 9 平成20年度菊陽町後期高齢者特別会計については、平成21年4月1日に「老人保健法」の法律名が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改正され、また同法の改正により75歳以上の高齢者向けの医療制度が、従来の「老人保健」から「後期高齢者医療」に改められたことにより、新たに設けられた。
- 収入率は予算減額に対し98.71%となっているが、保険料で1,114,340円の収入未済額が生じており、今後納付金も増加するものと考えられ、収入未済額の減少に努められたい。
- 10 平成20年度菊陽町介護保険特別会計の保険給付費は1,397,006,011円で、前年度の1,327,799,932円より69,206,079円増加し、年毎に増加している。給付費には一般会計繰入金で充当されており、節減対策にも努められたい。
- また、介護保険料の収入未済額が8,737,440円、不納欠損額が1,976,300円生じているので、今後とも、なお一層の徴収に努力されたい。
- 11 平成20年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計の決算については、貸付事業が平成4年度で終了し、歳出での公債費の償還も平成20年度で終了している。このため、事業としては貸付金返済金の受け入れのみとなるため、平成21年度より一般会計へ移行することとなっている。
- なお、貸付金返済収入のうち、過年度分の収入未済額28,449,635円（11人分）が残っているため、引き続き徴収に努力されたい。
- 12 平成20年度菊陽町下水道特別会計の決算においては、下水道使用料のうち7,433,120円、受益者負担金のうち3,852,570円が収入未済となっている。また、合わせて671,090円の不納欠損額も生じており、今後もなお一層の徴収に努力されたい。

13 平成20年度菊陽町農業集落排水特別会計決算は適正に処理されているが、一般会計からの繰入金の圧縮に努力されたい。

14 平成20年度菊陽町土地取得特別会計決算は適正に処理されていた。なお、本年度における新たな用地取得は行われていない。

#### 15 財産に関する調書及び基金運用状況調書

財産については、行政財産の土地において公園用地と雨水調整池等の、その他の施設用地が増加し、普通財産の雑種地において原水工業団地緑地等が増加し、公有財産の土地が全体で52,272㎡増加している。山林、有価証券には増減はなく、出資による権利において、地方公営企業等金融機構が公営企業金融公庫に代わって設立したため2,400,000円出資した。物品及び債権については、関係台帳と照合の結果、適正に管理・運用がなされていることを認めた。

また、基金については、基金の設置の趣旨に基づいて適正かつ効率的に運用されているか、計数は正確であるか等について審査したところ、いずれの基金も目的に沿った適正な運用がなされていることを認めた。

基金別（表34）に見れば、財政調整基金は167,919千円増加（積み立て）し、400,000千円減少（平成19年度分として取り崩し）したため、差引232,081千円減少している。次に、土地区画整理事業基金が187,025千円（うち平成19年度分積み立て186,516千円）、学校建設基金が100,435千円（うち平成19年度分積み立て100,000千円）増加している。また、介護従事者処遇改善臨時特例基金が13,982千円積み立てられている。

一方、人材育成基金が11,350千円、社会福祉振興基金が500千円、スポーツ振興基金が3,000千円それぞれ減少（取り崩し）しているが、平成19年度分である。

今後ともさらに基金の設置目的に沿って、効率的運用に努力されたい。

なお、表34は、上段が財産に関する調書における数値（4/1～3/31）、下段は平成20年度決算における数値（4/1～5/31）である。

(表34)

## 各項目別基金状況(平成20年度末基金保有状況)

(単位:千円)

区分 基金名	財産調書、決算の別	平成19年度末	平成20年度		平成20年度末
			増	減	
財政調整基金	財産調書(4/1~3/31)	1,679,357	167,919	400,000	1,447,276
	決算(4/1~5/31)	1,441,357	278,919	200,000	1,520,276
減債基金	財産調書(4/1~3/31)	449,150	1,831		450,981
	決算(4/1~5/31)	449,150	1,831		450,981
公共施設整備基金	財産調書(4/1~3/31)	313,363	1,298		314,661
	決算(4/1~5/31)	313,363	1,298		314,661
ふるさと創生事業基金	財産調書(4/1~3/31)	360,832	1,525		362,357
	決算(4/1~5/31)	360,832	1,525		362,357
人材育成基金	財産調書(4/1~3/31)	168,038	673	11,350	157,361
	決算(4/1~5/31)	156,688	673	10,080	147,281
社会福祉振興基金	財産調書(4/1~3/31)	255,089	1,023	500	255,612
	決算(4/1~5/31)	254,589	1,023	500	255,112
土地区画整理事業基金	財産調書(4/1~3/31)	126,856	187,025		313,881
	決算(4/1~5/31)	313,372	36,116		349,488
学校建設基金	財産調書(4/1~3/31)	109,422	100,435		209,857
	決算(4/1~5/31)	209,422	100,435		309,857
表彰基金	財産調書(4/1~3/31)	4,478	16		4,494
	決算(4/1~5/31)	4,478	16		4,494
スポーツ振興基金	財産調書(4/1~3/31)	93,723	374	3,000	91,097
	決算(4/1~5/31)	90,723	374	3,000	88,097
ふるさと・水と土保全基金	財産調書(4/1~3/31)	10,514	42		10,556
	決算(4/1~5/31)	10,514	42		10,556
町営住宅建設基金	財産調書(4/1~3/31)	1,257	4		1,261
	決算(4/1~5/31)	1,257	4		1,261
療養給付支払等基金	財産調書(4/1~3/31)	182,644	731		183,375
	決算(4/1~5/31)	182,644	731		183,375
下水道運営基金	財産調書(4/1~3/31)	65,584	263		65,847
	決算(4/1~5/31)	65,584	263		65,847
農業集落排水事業運営基金	財産調書(4/1~3/31)	13,411	53		13,464
	決算(4/1~5/31)	13,411	53		13,464
土地開発基金	財産調書(4/1~3/31)	280,086	1,126		281,212
	決算(4/1~5/31)	280,086	1,126		281,212
介護従事者処遇改善臨時特例基金	財産調書(4/1~3/31)	0	13,982		13,982
	決算(4/1~5/31)	0	13,982		13,982
合計	財産調書(4/1~3/31)	4,113,804	478,320	414,850	4,177,274
	決算(4/1~5/31)	4,147,470	438,411	213,580	4,372,301

## 16 財政構造の弾力性

健全な財政運営の要件は、収支の均衡を保持しながら経済的変動や町民要望に対応する弾力性をもつものでなければならない。普通会計における財政力の動向、財政構造の弾力性を判断する主要財政指標の年度別推移は、（表35）のとおりである。

（表35） 主要財政指標の年度別推移

区分 年度	財政力指数	経常収支比率(%)	公債費比率(%)	標準財政規模(千円)
平成14年度	0.593	75.1	10.0	6,200,305
平成15年度	0.653	77.2	12.1	5,776,258
平成16年度	0.701	82.6	13.9	6,125,013
平成17年度	0.714	83.1	13.5	6,331,323
平成18年度	0.748	83.5	12.8	6,467,806
平成19年度	0.813	90.0	15.7	6,927,166
平成20年度	0.893	88.4	14.7	7,413,188

### ア 財政力指数

財政力の強弱を示す指標として用いられるもので、普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3年間の平均値である。この指標が1を超えるほど財源に余裕があるとされているが、本年度は0.893で、前年度より0.080ポイント伸びている。

### イ 経常収支比率

財政の弾力性は経常収支比率により判断されるが、その率が低ければ低いほど財政の弾力性は大きく、財政構造が優れているといえる。その比率は、おおむね、70～75%の間に分布するのが標準とされている。本町の経常収支比率は88.4%で、前年度から1.6ポイント減少しているが、今後の財政の硬直化が懸念される。

### ウ 公債費比率

公債費比率は、経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率で公債の元利償還額の負担状況を示す指標である。この比率が高いほど財政硬直化の一因となるものとされているが、通常、財政構造の健全性が脅かされないためには、この比率が10%を超さないことが望ましいとされている。15%を超えると黄信号、20%以上は赤信号といわ

れている。本年度は 14.7%で、前年度より 1.0ポイント減少している。

## エ 標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模を示すもので、おおむね、町税、地方譲与税、各種交付金、普通交付税、臨時財政対策債の合計と等しい。ここ数年は税収の増加もあり年々増加している。

オ 財政の構造について分析して考察すればおおむね次のとおりである。

### (1) 歳入の構成

①自主財源と依存財源に区分し、年度別に比較すると（表36）のとおりである。

(表36) 普通会計自主財源・依存財源年度別比較 (単位：千円、%)

年度 区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
自主財源	5,534,418	47.0	7,413,942	68.1	7,512,167	71.5
依存財源	6,232,804	53.0	3,470,588	31.9	2,990,590	28.5
計	11,767,222	100.0	10,884,530	100.0	10,502,757	100.0

自主財源と依存財源の構成比は71.5%対28.5%となっており、自主財源の比率が増加している。前年度と比較すると、自主財源では、町税が455,705千円、繰越金が43,625千円それぞれ増加している。依存財源は、地方交付税が255,609千円、町債が211,900千円が減少している。

②経常的収入と臨時的収入の構成割合は、76.1% 対 23.9%となっており、年度別に比較すると（表37）のとおりである。

(表37) 普通会計経常的収入・臨時的収入年度別比較 (単位：千円、%)

年度 区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
経常的収入	7,207,857	61.3	7,696,732	70.7	7,996,873	76.1
臨時的収入	4,559,365	38.7	3,187,798	29.3	2,505,884	23.9
計	11,767,222	100.0	10,884,530	100.0	10,502,757	100.0



## (2) 歳出の構成

歳出決算額を性質別に区分し前年度と比較すると、(表38)のとおりである。

(表38)

## 普通会計性質別歳出決算額

(単位：千円、%)

区分		年度		平成19年度		平成20年度		対前年度比	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率		
消費的経費	人件費	1,659,612	16.3	1,642,813	16.7	△ 16,799	△ 1.01		
	扶助費	753,081	7.4	794,248	8.1	41,167	5.47		
	維持補修費	44,976	0.4	51,002	0.5	6,026	13.40		
	補助費等	1,209,078	11.9	1,195,078	12.2	△ 14,000	△ 1.16		
	物件費	1,518,713	14.9	1,604,749	16.4	86,036	5.67		
	小計	5,185,460	50.9	5,287,890	53.9	102,430	1.98		
投資的経費	普通建設事業費	1,918,258	18.8	1,561,180	15.9	△ 357,078	△ 18.61		
	災害復旧費	1,840	0.0	0	0.0	△ 1,840	△ 100.00		
	小計	1,920,098	18.8	1,561,180	15.9	△ 358,918	△ 18.69		
その他の経費	公債費	1,417,512	13.9	1,416,143	14.4	△ 1,369	△ 0.10		
	積立金	556,700	5.5	422,255	4.3	△ 134,445	△ 24.15		
	投資・出資・貸付金	1,566	0.0	3,516	0.0	1,950	124.52		
	繰出金	1,108,060	10.9	1,119,765	11.4	11,705	1.06		
	小計	3,083,838	30.3	2,961,679	30.2	△ 122,159	△ 3.96		
合計		10,189,396	100.0	9,810,749	100.0	△ 378,647	△ 3.72		
経常経費充当一般財源		6,159,123	60.4	6,238,677	63.6	79,554	1.29		

消費的経費は 5,287,890千円で、前年度と比較し 1.98%、102,430千円の増となっており、歳出総額に占める割合は 53.9%となっている。投資的経費は 1,561,180千円で、前年度と比較し18.69%、358,918千円の減となっている。その他の経費は 2,961,679千円で、前年度と比較し3.96%、122,159千円の減となっている。

一方、これらの経費に充当された経常一般財源は 6,238,677千円で、前年度と比較し1.29%、79,554千円増加している。

## 17 審査意見

本町の平成20年度予算は、第三次菊陽町行財政改革の達成に向けて、生活創造都市を目指しながらも、菊陽町集中改革プランを踏まえ、厳しい財政状況の中、高齢者の医療介護、少子化対策、校舎の耐震対策や道路の整備等、教育、生活基盤の整備等、歳入予算と収支均衡を計りながら財源の重点的、効果的な予算が編成されていたが、各事業の推進、執行状況を審査した結果、一部補正予算や繰り越しの設定を施し、それぞれの事務事業は厳しい財政事情にもかかわらず、その目的に沿って効果的に行われ、一般会計、特別会計とも本年度の当初計画は概ね達成されているものと認められる。

また、決算において、一般会計の不用額は約398,737千円（うち予備費182,131千円）、特別8会計で約109,805千円が生じており、昨年より総額で176,815千円少なくなり、予算における経費の縮減や需用費、使用料等の支出削減に努力されているが、各部所に設置されている委員会や協議会が計画どおりに開催されず、報酬費や旅費に不用額を出しているところがあったが、今後は必要な委員会や協議会は実施し、その意見や提案を事業や運営に活用してもらいたい。

一方、一般会計の収入未済額は町税、分担金・負担金、使用料等で約373,522千円、特別8会計で約321,086千円あり、昨年度より36,454千円減少している。これは、県税及び市町村税徴収向上対策の実施など徴収率アップに努められた結果にもよりますが、本町は地方交付税等、依存財源が毎年減額されており、自主財源の確保及び税負担等の公平性の観点から引き続き未収金の回収に努められたい。

### ※ むすび

我が国の経済は20年度当初景気は回復に向かっていたものの、年度中期にアメリカでサブプライムローン問題が発生し、にわかに世界同時不況に陥り、日本経済への打撃は百年に一度の不況とも云われ、各主要企業は国内外共に製品の販売不振から業績は大幅に悪化し、工場閉鎖や非正規職員の大量解雇等、各自治体にも多用な面で負の影響が発生している。

この様な情勢のなか、本町においては財政力の指標とされる財政力指数は幸いにも人口の増加や企業店舗の進出・拡張等による税收等の伸びにより、本年度も0.893と伸びて好ましい傾向にあるが、経常収支比率、公債費比率は昨年より下がってはいるものの、まだ高い水準を示しており、注意しなければならない。

また、一般会計歳入の財源内訳を分析すると、自主財源と依存財源の構成比は先に示したように自主財源の比率が71.5%と増加しており”地方が主役の国づくり”の時代を迎えよう

としている。

歳出の構成では、消費的経費が全体の53.9%を占めており投資的経費が減少している。財政運営の基本は、収支均衡はもとより、限られた財源を効率的且つ公平に執行し、住民の福祉を向上させ、安心安全で快適な町づくりを目指すことであるが、経済情勢や社会の変動に即応できる弾力性が要求される。

先に述べたように、現在の日本経済は非常に疲弊しており、回復の兆しが見えないまま政治は混乱しており、今後も厳しい財政状況の中での行政運営となろうであろうが、「人・緑・元気輝く生活創造都市」の創造に職員一丸となって邁進されたい。